

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】令和 4 年 3 月 2 日(2022.3.2)

【公開番号】特開 2021-181402(P2021-181402A)

【公開日】令和 3 年 11 月 25 日(2021.11.25)

【年通号数】公開・登録公報 2021-057

【出願番号】特願 2021-131001(P2021-131001)

【国際特許分類】

C 0 4 B 2 8 / 2 6 (2 0 0 6 . 0 1)

10

C 0 4 B 1 8 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 4 B 2 2 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 4 B 1 4 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1)

B 2 8 B 1 / 3 2 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

C 0 4 B 2 8 / 2 6

C 0 4 B 1 8 / 1 0 A

C 0 4 B 2 2 / 0 6 Z

C 0 4 B 1 4 / 1 0 Z

B 2 8 B 1 / 3 2 B

20

B 2 8 B 1 / 3 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 2 月 21 日(2022.2.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

30

【請求項 1】

結合剤混合物であって、

4 ～ 4 5 重量 % の非軽石火山岩粉であって、前記非軽石火山岩粉は、ジオポリマー材料である、前記非軽石火山岩粉と、

0 ～ 4 0 重量 % を超える潜在水硬性材料であって、前記潜在水硬性材料は、褐炭フライアッシュ、無煙炭フライアッシュ、カオリン、およびトラスのうちの 1 つ以上を含み、前記火山岩は、3 , 0 0 0 を超えるブレン値を有し、前記潜在水硬性材料は、3 , 0 0 0 を超えるブレン値を有する、前記潜在水硬性材料と、

1 0 ～ 4 5 重量 % のアルカリ成分であって、前記アルカリ成分は、水酸化アルカリ、およびアルカリ炭酸塩のうちの 1 つ以上を含む、前記アルカリ成分と、

40

2 0 ～ 9 0 重量 % の骨材と、

1 重量 % 未満の硫酸塩であって、前記結合剤混合物中の前記硫酸塩は、汚染物質の形態である、前記硫酸塩と、

5 重量 % 以下のカルシウムと、

を含む、結合剤混合物。

【請求項 2】

前記結合剤混合物中の前記硫酸塩は、0 , 5 重量 % 以下である、請求項 1 に記載の結合剤混合物。

【請求項 3】

前記結合剤混合物中の前記カルシウムは、酸化カルシウムの形態である、請求項 1 に記

50

載の結合剤混合物。

【請求項 4】

前記結合剤混合物中の前記カルシウムは、2 重量%以下である、請求項 1 に記載の結合剤混合物。

【請求項 5】

前記火山岩は、ポゾランである、請求項 1 に記載の結合剤混合物。

【請求項 6】

前記骨材は、砂利、砂、玄武岩、パーライト、および膨張頁岩のうちの 1 つ以上を含む、請求項 1 に記載の結合剤混合物。

【請求項 7】

前記結合剤混合物中の前記骨材は、20～70 重量%である、請求項 1 に記載の結合剤混合物。

【請求項 8】

前記結合剤混合物中の前記骨材は、20～50 重量%である、請求項 1 に記載の結合剤混合物。

【請求項 9】

前記結合剤混合物中の前記骨材は、20～40 重量%である、請求項 1 に記載の結合剤混合物。

【請求項 10】

更に、水を含む、請求項 1 に記載の結合剤混合物。

【請求項 11】

前記アルカリ成分は、粉末のケイ酸ナトリウム、および噴霧乾燥されたケイ酸塩のうちの 1 つ以上を含む、請求項 1 に記載の結合剤混合物。

10

20

30

40

50